

丸全昭和運輸、北九州市に新倉庫建設

Edited By LogisticsToday On 2017/07/13



丸全昭和運輸が北九州市小倉北区で建設を進めていた新倉庫「小倉倉庫営業所」が、12日竣工した。

倉庫は、1万3200平方メートルの敷地に、延床面積7920平方メートル・鉄骨造2階建てで建設。2010年に営業開始した危険物倉庫2棟を併設し、温度管理にも対応する。輸出入危険品貨物のバンニング・デバンニング作業も可能としている。

■「小倉倉庫営業所」概要

所在地：北九州市小倉北区西港町15-67

敷地面積：1万3200平方メートル（4000坪）

構造・規模：鉄骨造（一般倉庫）、2階建て

延床面積：7920平方メートル（2400坪）

有効階高：5.8メートル

床荷重：1坪あたり6トン（1階）、5トン（2階）

設備：エレベーター1基、垂直搬送機1基、ドックレベラー2基

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/294829>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.